

第 17 回 定例会議(名古屋) 報告

◆開催日時：平成 22 年 11 月 21 日（日） 10:00～16:00

◆開催場所：株式会社ジェネラス（グラシア 2 号館）

第 17 回定例会議は名古屋市の株式会社ジェネラスで開催されました。行楽シーズンというのに、50 名余りの会員に御参集頂きました。

今回の定例会議は第 2 回通常総会に抱き合わせて開催されました。総会では 2009 年度事業報告並びに会計報告を御承認頂き、また 2010 年度事業計画並びに予算計画の御承認を頂きました。

今回、外部講師として弁護士古澤仁之（ふるさわひとし）先生をお招きし、「経営者に求められるリーガルマインド」を御講演頂きました。お話の中で痛感したのは、医療や介護サービスは極めてクレームをつけやすく、賠償請求され易いということです。事例を通して、その対策や組織作りの重要性を御教授頂きました。



また、会員事例発表として、有限会社リハぷらす 代表取締役社長 達川仁路氏には「訪問看護ステーションと通所介護による事業展開」、株式会社グリーンタウン呼吸嚙下ケアプランニング 代表取締役社長 井上登太氏には「高齢者専用賃貸住宅でのチャレンジ」を御発表頂き、事業にかける情熱や思いに感動しました。有限会社ふらむはあとリハビリねっと 代表取締役社長 安倍浩之氏の「起業セラピストが医療を抱え込む意義」では地域医療ケアの包括的アプローチと安定経営に配慮した取り組みを御発表いただきました。

この度、新規加入の会員が数名あり、自己紹介をして頂きました。当会に入会するだけあって、エネルギーでユニークな会員が多く、当会運営の戦力となることを願っています。

最後に塩中雅博理事長が、平成 24 年度医療介護同時改定最新情報の提供と当会運営についての御協力をお願いを致しました。次期同時改定に関する情報には不安と希望が交錯しますが、専門職としてすべき事をしっかりとする事が重要である。そして最終的な結果は国民にとって何が大切かということにつきるとい事を力説。また、会員メリットについて、ホームページの充実や会員名簿の作成など図っていくこと、同時に関係部署や国民に当会の活動をしっかりとアピールしていく事などが湧いてくるような総括をして閉会となりました。

国内屈指のセラピスト起業の会社、ジェネラス株式会社 代表取締役社長 小山 樹女史の御高配で、同社の視察研修の段取りをして下さいました。見るもの見るもの感動しましたが、就中リハビリ型「ショートステイねもころ」はセラピストならではの思いを凝縮して詰め込んでありました。

会員にとって有意義な定例会議となったことでしょう。最後になりましたが、前日の懇親会にも沢山の会員に御参加頂き、畏まらず、気楽に、起業や経営に関する情報交換がなされていました。次回、定例会議にはこれまで以上の会員の御参加をお待ち致しております。 以上